

人間ばん馬とクラフトのまち おけと

# 議会だより

2017. 2. 1

vol

181

発行 / 置戸町議会

編集 / 議会広報特別委員会



オープンを待つ勝山温泉ゆうゆう

## おもな内容

### 第9回定例会、臨時会

- ・ 補正予算、条例、同意など……2～3P
- ・ 一般質問(5議員)……5～9P
- ・ 道内所管事務調査報告等……10～11P

委員会の活動状況……12P

## ■一般質問の項目

- ▶ 国民健康保険制度の道移管に及ぼす影響は  
……………外1件／佐藤議員
- ▶ 役場職員の超過勤務と健康管理について  
……………／嘉藤議員
- ▶ 仮称地域間バスの早期運行を  
……………外1件／岩藤議員
- ▶ 置戸町の健康づくりとスポーツ振興について  
……………／阿部議員
- ▶ 町有林整備基金の創設について………／小林議員

# 12月定例議会

平成28年第9回定例会は、12月14日から15日まで開催され、5議員の一般質問と一般会計の補正予算、条例、同意、認定等を審議・可決し、閉会しました。

## 条例

置戸町勝山活性化センター設置条例の制定について  
— 原案可決 —  
設置及び管理について必要な事項を定めました。

置戸町農業委員会の委員の定数に関する条例の制定について  
— 原案可決 —  
農業委員会等に関する法律の改正により、町議会の同意を要件とした町長の任命制となることを定め、現行の定数条例は廃止されました。

置戸町職員の勤務時間、休暇等に関する条例等の一部を改正する条例  
— 原案可決 —

介護休暇の分割や介護時間の新設、育児休業法の改正に伴い、条項の一部を改正しました。

置戸町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例  
— 原案可決 —

勤勉手当の支給に関する条例を改正しました。

置戸町税条例等の一部を改正する条例  
— 原案可決 —

国税法、地税法の改正に伴い、条例の一部を改正しました。

置戸町国民健康保険税条例の一部を改正する条例  
— 原案可決 —

配当所得を国保の所得割に算入するなど条例の一部を改正しました。

置戸町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例  
— 原案可決 —

置戸町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例  
— 原案可決 —

める条例の一部を改正する条例  
— 原案可決 —

介護保険法の一部改正に伴い、条例の一部を改正しました。

## 補正予算

平成28年度置戸町一般会計補正予算  
— 原案可決 —  
歳入歳出予算を6212万8千円追加し、歳入歳出予算

の総額をそれぞれ53億9097万9千円としました。

## 工事請負

工事請負変更契約の締結について  
— 原案可決 —

置戸地区簡易水道再編推進事業秋田送水ポンプ場外建設

工事の請負金額の変更  
・契約金額  
変更前 1億1772万円  
変更後 1億800万円

## ■一般会計補正内訳

(単位：千円)

主な補正内容	補正額	増減
番号制度導入に要する経費	1,100	増額
庁舎の維持管理に要する経費	790	増額
定住促進事業に要する経費	1,000	増額
地域公共交通対策に要する経費	4,025	増額
臨時福祉給付金に要する経費	13,694	増額
認定こども園等運営に要する経費	4,500	増額
農地中間管理事業に要する経費	2,626	増額
強い農業づくり事業補助金	14,170	増額
建設機械管理に要する経費	2,800	増額

## 同意

置戸町固定資産評価審査  
委員会委員の選任につい

て — 原案同意 —

平成29年1月11日をもって  
任期満了となる置戸町固定資  
産評価審査委員会委員桑山隆  
氏の後任に小田重孝氏（字置  
戸59歳）を任命することに同  
意しました。

## 認定

平成27年度一般会計外6  
特別会計の歳入歳出決算  
の認定について

— 認定 —

平成28年9月26日開会の第  
6回置戸町議会定例会におい  
て閉会中の継続審査として、  
決算審査特別委員会に付託さ  
れた平成27年度各会計決算に  
ついて、委員長より審査結果  
の報告があり、報告のとおり  
認定されました。

## 報告

財政的援助団体の監査結  
果報告 — 報告済 —

監査委員から平成28年10月  
28日に実施した、置戸町観光  
協会の財政的援助費について、  
補助金に関する事務は、適正  
に執行されていると報告があ  
りました。

定期監査の結果報告

— 報告済 —

監査委員から平成28年11月  
25日に実施した、平成28年10  
月31日現在における工事・委  
託発注状況にかかる事務及び  
工事の執行は、適正に処理さ  
れていると報告がありました。

例月出納検査の結果報告

— 報告済 —

監査委員から、平成28年8  
月31日、9月30日、10月31日  
現在の出納検査について、検  
査の結果、現金の出納及び保  
管は適正に行われていると報  
告がありました。

## 要望意見書

議員から提出された7件の  
要望意見書を審議の結果、  
原案可決し、関係各大臣等に  
提出することにしました。

▽「高額療養費」「後期高齢者  
の窓口負担」の見直しにあ  
たり、現行制度の継続を求  
める要望意見書

▽国民健康保険療養費国庫負  
担金の調整（減額）廃止を  
求める要望意見書

▽国による子ども医療費無料  
制度創設を求める要望意見  
書

▽全国規模の総合的な「アイ  
ヌ政策の根拠となる新たな  
法律」の早期制定を求める  
要望意見書

▽地方議会議員の厚生年金制  
度への加入を求める要望意  
見書

▽大雨災害に関する要望意見  
書

▽J・R北海道への経営支援を  
求める要望意見書

## 条例

▽網走地方教育研修セン  
ター組合規約の変更につ  
いて — 原案可決 —

規約の一部を変更しました。

## 同意

▽工事請負契約の締結につ  
いて — 原案可決 —

(1)置戸地区簡易水道再編推  
進事業 置戸浄水場機械設備  
新設工事

・ 契約金額  
8478万円

・ 契約相手  
天内・吉崎経常建設共同企  
業体

(2)置戸地区簡易水道再編推  
進事業 置戸浄水場外電気設  
備新設工事

・ 契約金額

平成28年  
第7回  
臨時会  
11月14日開催

規約、工事請負変更契約の  
締結について、審議・可決  
し閉会しました。

一部質疑を  
掲載します

＜平成28年度一般会計  
補正予算より＞

問 平成29年3月時点での  
簡易水道再編水道推進事業の  
進捗率及び総体事業費は。  
答 約8割を見込んでおり、  
平成29年度で膜ろ過施設を導  
入し、平成30年度供用開始に  
向け整備が進んでいる。その  
後、中里・安住地区、北光・  
愛の沢地区も順次実施する予  
定でいる。また、総体事業費  
は委託費込みで32億円です。

平成28年  
第8回  
臨時会

11月24日開催

条例、補正予算について、  
審議・可決し閉会しました。

条  
例

▽置戸町議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

— 原案可決 —

▽置戸町常勤特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

— 原案可決 —

▽置戸町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例

— 原案可決 —

平成28年度人事院勧告に伴い、置戸町議会議員、置戸町職員等の期末手当等を改正しました。

補  
正  
予  
算

▽平成28年度置戸町一般会計補正予算

— 原案可決 —

歳入歳出予算を1514万

4千円減額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ53億2885万1千円としました。

▽平成28年度置戸町介護サービス事業特別会計補正予算

— 原案可決 —

歳入歳出予算を60万7千円減額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ2309万3千円としました。

▽平成28年度置戸町簡易水道特別会計補正予算

— 原案可決 —

歳入歳出予算を293万8千円追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ8億4033万8千円としました。

▽平成28年度置戸町下水道特別会計補正予算

— 原案可決 —

歳入歳出予算を6万3千円追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ2億4615万3千円としました。

平成29年  
第1回  
臨時会

1月18日開催

補正予算、財産の取得について、審議・可決し閉会しました。

条  
例

▽平成28年度置戸町一般会計補正予算

— 原案可決 —

町道秋田中里線災害復旧事業に係る繰越明許費2400

万を追加補正しました。

▽平成28年度置戸町簡易水道特別会計補正予算

— 原案可決 —

簡易水道再編推進事業に係る繰越明許費1億9075万円を追加補正しました。

そ  
の  
他

▽財産の取得について

スポーツセンタートレーニング器具の取得

・品名

ランニングマシン 他

・契約金額

1188万円

・契約の相手方

なかむら 中村寿孝

町村議会議長全国大会

全国町村議会議長会主催の第60回全国大会が11月9日、東京都（NHKホール）で開催されました。

全国から約1600名の町村議会関係者が参加し、置戸町議会からは佐藤議長が参加しました。

大会は全国927町村議会の総意を結集し、「地方創生」を通じ個性と活力に満ちた町村の実現を目指すために開催され、大会終了後シンクロナイザー・教育コメンテーター武田美保氏による特別講演が行われ、盛会のうちに閉会しました。







佐藤勇治議員

## 国民健康保険制度の道移管に及ぼす影響は

町長 大きな負担にならぬよう注視していく

**Q** 国民健康保険法等の一部改正により、平成30年度から都道府県が運営の主体となります。本町ではおよそ580世帯1120人が国保に加入しております。安定的な医療保険制度を構築するための法改正と認識します。が次の3点について伺います。

- ① 北海道と市町村の役割分担はどのように行われるのか。
- ② 道移管に伴う広域化による利点はあるものか。
- ③ 道移管によって標準化された算定で、負担が大幅に増額しないか。

**A** ①については道が財政運営の責任主体となり市町村ごとの国保事業費の納付金を決定し、併せて財政安定化基金の設置、運営をすることになっております。市町村は、この国保事業費の納付金を北海道に納付し、保険証の発行等、資格の管理を行います。保険料の決定は北海道の標準的な算定の方法により市町村毎の標準保険料率を算定して公表します。市町村は、

標準保険料率を参考にして保険料率を決定し賦課徴収を行います。保険の給付について、北海道は給付に必要な費用を全額市町村へ支払い、市町村の行った保険給付の点検を行います。

②についてのメリット、改善点では安定的な財政運営、効率的な事業の確保等、国保運営に中心的な役割を担い、制度の安定化が図られることを期待しております。市町村にとっては、事務の標準化、効率化、広域化が図られると思っております。

③については国の基本的なルールによって医療費水準が同じで、所得水準が高いという場合は、保険料は高くなります。また、所得水準が同じで医療費水準が高い場合も、やはり保険料は高くなります。今回の試算結果を一つの叩き台として、平成29年、具体的な協議を行い、11月には納付金の概算額、平成30年1月には正式な納付金が示される予定になっております。

大きな負担や変更が求めら

れないように、関係機関や町の国保運営協議会とも連携し、いろんな角度で検証しながら制度の進み具合を注視しているかなければならないと思っております。

**再Q** 全道的には半数以上の93の市町村が上昇、そして下がるのが83の市町村ということですが、本町においては、20%を超える上昇率になるということですが、現実的にこういった方法でこの負担増を和らげるのか、現在一般会計から繰入しているが、そういった財源措置を考えてい

るのか伺います。

**A** 保険料の負担は、誰もが現行よりも下があればいいと期待していると思えます。しかし、現実には上回っている状況です。今、私がここで期待されるような発言は、控えるべきだろうと思います。

第一次産業の農業を営んでいる人たちの所得水準は高いことも認識しておかなければならないと思います。いずれにしても、そう遅くならないようにこの問題について明らかにしたいと思えます。

## 役場庁舎の早期耐震補強着手を

町長 平成32年度に事業実施の予定である

**Q** 役場庁舎は平成25年度に耐震診断を行いました。この間、置戸中学校、今年度はファミリースポーツセンターが耐震補強と併せて大規模改修を行いました。耐震化補強対象の公共施設として、役場庁舎のみが残ってい

ます。建築後、大よそ50年近くなろうとしている役場庁舎は行政の司令塔です。地震はいつ起こるか予知できません。今後、耐震診断に基づき、早期の耐震化工事に着手すべきと認識しますが考えを伺います。

A

本町では、平成23年の2月に、置戸町耐震改修促進計画を策定いたしました。そこで、役場庁舎ということになるわけですが、建築後48年が経過しております。役場庁舎は災害時の対策本部にもなることから先延ばしにしているわけにはいかないと思っています。第5次総合計画の後期計画、平成31年度に実施設計費を計上しています。従って、32年度に事業実施をする予定で、エレベーターの設置等、機能向上の観点も含め財政的なことも考慮しなければなりません。

耐震改修の費用はおよそ5000万円で、50年経っている庁舎がこの先何十年も使うと想定し、改修の費用をより有効的な形で考えたとすれば、耐震改修に併せて大規模改修も考えなければならぬと思います。決して先延ばしにしているわけではありませんので、ご理解をいただきたいと思います。



嘉藤 均議員

## 役場職員の超過勤務と健康管理について

町長 人事、機構の見直しで適材適所を

Q

平成27年度一般会計、特別会計決算、基金運用状況を調べた監査委員の審査意見書において、職員の超過勤務状況と健康管理について

の項目がありました。超過勤務については500時間を超える職員が7名おりました。また、ストレスチェックにおいては、105名中18名が高ストレスにあるとされており、100周年事業があったとはいえ異常な状況であります。

負担を分担する機構改革等早急な対策が必要と考えますが、今後の改善策について伺います。

A

超過勤務と健康管理について、100周年記念事業ということもあり時間数では全体で前年度比32%伸びております。職員の超過勤務について担当課からの月ごとの報告により、個人ごとの超過勤務実態を示し、課内及び係間の連携を図るように指導しております。

具体的対策としては、毎週

### ▼置戸町役場



水曜日をノー残業デーと設定したり、午後10時以降の原則庁舎への入室禁止等の措置を図ってまいりました。

労働者50名以上の事業所についてストレスチェックが義務化されており、平成22年からメンタルヘルスの健診を実施しております。メンタル不調の未然防止の仕組みを取り入れておりますが、高ストレスを抱える職員が18名いることも承知しており、専門医への受診の勧奨も行っております。体の病気や心の病気には、

公務員としての職責からのプレッシャーやストレス等の要因があると考えられます。今後職員、家族を含め健康に留意するための話し合いを行ってまいります。また人事異動、事務機構の見直し、適材適所への人事配置も必要だと思っています。

新人職員の日常的な指導、研修を通じて育成を図るとともに専門職員の採用により業務の充実を図っているところです。また、現在職員も非常に年の中で一人前になり大きな活躍を期待するとともに、専門医を中心にストレス等にも対応していきたいと考えます。

まちづくりも仕事の上でも最も重要な人は人です。それは町職員だけではなく、町民も同様です。その根本は自分自身の健康であると思います。